

ちひろ美術館セレクション 2010 → 2021 日本の絵本展

＜同時開催＞いわさきちひろ やさしさと美しさと

2023年10月7日(土)～2024年1月14日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室1・2

主催：ちひろ美術館

協力：BL出版、あかね書房、アリス館、岩崎書店、偕成社、くもん出版、講談社、小峰書店、集英社、スイッチ・パブリッシング、玉川大学出版部、童心社、福音館書店、
ブロンズ新社、ポプラ社、理論社

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会



1-1 tupera tupera 「わくせいキャベジ動物図鑑」(アリス館)より 2016年

2010年代を彩る傑出した 日本の絵本29冊の原画が一堂に会する展覧会

2011年の東日本大震災から始まった激動の2010年代。子どもを取りまく環境も大きく変化しました。画家たちは新しいテーマや表現に挑戦し、絵本を通して今を生きる子どもたちに向けたメッセージを発信し続けています。絵本の世界では、新しい世代のつくり手たちのめざましい活動も印象づけられました。また2010年代を通して、「3.11」や「福島」を取りあげた絵本や真摯にいのちと向き合う絵本、過去の戦争に焦点をあて、平和の在り方を問う絵本など、時代をあらわす作品も生まれました。

ちひろ美術館では、10年ごとに時代を代表する絵本を紹介する展覧会を継続しており、今回は4回目となります。3年の延期を経て開催する本展覧会では、時代に求められた多様な表現に焦点をあて、2010年から2021年に出版された作品のなかから、注目を集めた絵本や、今後も活躍が期待される作家の作品を紹介します。

展覧会の見どころ

3.11以後の日本の絵本

2011年に起こった東日本大震災のつめ跡は、今も大きく残されています。「3.11」や「福島」をテーマにした作品、そしていのちの尊さを問う作品に焦点をあてます。

新しい世代の台頭

この10年間で日本の絵本の世界では、新しい世代のつくり手たちのめざましい活躍も印象づけられました。本展では、きくちちき、みやこしあきこ、ミロコマチコ、ヨシタケシンスケら、次世代を担う作家の作品を紹介します。

戦争、コロナ禍、そして未来へ

特定秘密保護法や憲法改変の動きなどを受けて、子どもの本に関わる人々の間でも平和を守るための議論が行われ、過去の戦争をテーマにした絵本が描かれました。また、コロナ禍にあって、子どもから大人まで多くの人の共感を得た、希望の光を照らす絵本も生まれました。画家たちが絵本に託した、今を生きる子どもたちに向けたメッセージや絵本表現の新たな可能性をお伝えします。



1-2 ミロコマチコ 『ぼくのふとんは うみでできている』
(あかね書房)より 2013年

出展作品数

約100点

主な出展作品
(作家名50音順)

- ・阿部海太『めざめる』(あかね書房)
- ・荒井良二『なんていいんだ ぼくのせかい』(集英社)
- ・安野光雅『しりとり』(福音館書店)
- ・伊藤秀男『はしれ、上へ! つなみてんでんこ』(ポプラ社)
- ・井上洋介『つきよのふたり』(小峰書店)
- ・植田真『ひばりに』(アリス館)
- ・上村亮太『アネモネ戦争』(BL出版)
- ・片山健『とくとくとくん』(福音館書店)
- ・きくちちき『しろとくろ』(講談社)
- ・酒井駒子『まばたき』(岩崎書店)
- ・しおたにまみこ『たまごのはなし』(プロンズ新社)
- ・junaida『の』(福音館書店)
- ・スズキコージ『ドームがたり』(玉川大学出版部)
- ・田島征三『ぼくのこえがきこえますか』(童心社)
- ・田島征彦『ふしぎなともだち』(くもん出版)
- ・館野鴻『つちはんみょう』(偕成社)
- ・田中清代『くろいの』(偕成社)
- ・tupera tupera『わくせいキャベジ動物図鑑』(アリス館)
- ・出久根育『かえでの葉っぱ』(理論社)
- ・長谷川義史『へいわってすてきだね』(プロンズ新社)
- ・はたこうしろう『あなたがおとなになったとき』(講談社)
- ・堀川理万子『海のアトリエ』(偕成社)
- ・町田尚子『ネコツメのよる』(岩崎書店)
- ・松本大洋『「いる」じゃん』(スイッチ・パブリッシング)
- ・三浦太郎『ちいさなおうさま』(偕成社)
- ・みやこしあきこ『もりのおくのおちゃかいへ』(偕成社)
- ・ミロコマチコ『ぼくのふとんは うみでできている』(あかね書房)
- ・村上康成『まっている。』(講談社)
- ・ヨシタケシンスケ『りんごかもしれない』(プロンズ新社)
- ・吉田尚令『希望の牧場』(岩崎書店)

関連書籍

展覧会公式図録

『ちひろ美術館セレクション2010→2021 日本の絵本展』

企画・発行：公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館(東京・安曇野)

体裁：A4版47ページ

価格：1100円(税込)



関連情報

展覧会特設サイト

<https://chihiro.jp/2010-2021ehonten/>



5組の作家による貴重なインタビューを公開中!
作家インタビュー：きくちちき、みやこしあきこ、阿部海太、植田真、tupera tupera

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp

各種SNSも更新中

お問い合わせ

広報担当 入口・松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (代表)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp



1-3 出久根育 「かえでの葉っぱ」(理論社)より 2012年



1-4 植田真 「ひばりに」(アリス館)より 2021年



1-5 酒井駒子 「まばたき」(岩崎書店)より 2014年



1-6 上村亮太 「アネモネ戦争」(BL出版)より 2020年



1-7 きくちちき 「しろとくろ」(講談社)より 2019年



1-10 ヨシタケシンスケ 「りんごがもしれない」(プロンズ新社)より 2013年



1-8 三浦太郎 「ちいさなおうさま」(備成社)より 2010年



1-9 松本大洋 「[[いる]じゃん」(スイッチ・パブリッシング)より 2017年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。

いわさきちひろ やさしさと美しさと

＜同時開催＞ちひろ美術館セレクション 2010 → 2021 日本の絵本展

2023年10月7日(土)～2024年1月14日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室3・4

主催：ちひろ美術館

私は私の絵本のなかで、
いまの日本から失われたいろいろなやさしさや、
美しさを描こうと思っています。
それをこどもたちに送るのが
私の生きがいです。

いわさきちひろ 1972年



2-1 ゆびきりをする子ども 1966年

ちひろの描きたいと思ったもの

いわさきちひろは、美しさややさしさを大切に、絵本や絵に描きたいと思っていました。それらは、一体どのようなものだったのでしょうか。

ちひろがこの世を去って来年で50年になります。彼女の作品が現代に生きる私たちの心を今もとらえるとしたら、それは、彼女の描いた作品に、普遍的な価値や想いが込められているからなのかもしれません。ちひろの作品やことばから、彼女の描こうとしたやさしさと美しさを探ります。

展覧会の見どころ

自然と子どもと

ちひろは、身近に咲く小さな草花から、四季折々の山川まで自然を愛し、そこに美を感じていました。また、子どもたちの存在にも美を見出し、繰り返し絵に描いています。ちひろが美しさを感じた、自然と子ども、ふたつがともに表現された作品を選んで展示します。

母のやさしさ

ちひろはとてもやさしい母親であったと、家族は語っていますが、彼女の手で描かれた母の姿も、どれもやさしさに満ちています。ちひろにとって、やさしさと強さの象徴のひとつでもあった母親が描かれたさまざまな作品を紹介します。

絵本のやさしい世界

「そのやさしい絵本を見た子どもが、大きくなってわすれずに心のどこかにとどめておいてくれて、何か人生のかなしいときや、絶望的になったときに、その絵本のやさしい世界をちょっとでも思いだして心をなごませてくれたらと思う」とちひろは語りました。彼女の手がけた絵本をいくつかのテーマに分け、紹介します。

出展作品数

約40点

※展示室4では、ピエゾグラフによる展示を行います。



2-2 麦わら帽子をかぶったおにた
『おにたのぼうし』（ポプラ社）より
1969年



2-3 ききょうと子どもたち 1967年



2-4 水仙とつくしを見る子ども 1960年代後半



2-5 「にじの はし」 1963年



2-6 赤い毛糸帽の女の子
『ゆきのひのたんじょうび』（至光社）より
1972年



2-7 少年と母 1970年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp 各種SNSも更新中

お問い合わせ

広報担当 入口・松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772（業務用） FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612（代表）

E-mail : publicity@chihoro.or.jp

文化庁 令和5年度 Innovate MUSEUM事業

● 2010→2021 日本の絵本展 関連イベント
対談 村上康成×はたこうしろう
—いま、絵本でつたえたいこと—

日時：10月8日(日)
14:00～15:30
会場：練馬区立石神井図書館
参加費：無料／定員：30名
申し込み：要事前予約(9/8より
石神井図書館カウンター、TEL.
03-3995-2230にて)

村上康成



photo: Y. Tanioka

はたこうしろう



※本イベントは、練馬区立貫井図書館、南田中図書館で同時上映(生中継)を予定しています。

●アートリップ

日時：10月27日(金) 14:00～15:00
講師：林 容子(アーツアライブ代表)／参加費：無料(入館料別)
対象：認知症の方とご家族や介護の方／定員：4組
申し込み：要事前予約(9/27より公式サイト、TEL.03-3995-0612にて)
認知症の方とご家族や介護の方を対象にした対話型的美術鑑賞プログラムです。

会期中のイベント

●わらべうたあそび

日時：10月21日(土) 11:00～11:40
講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)
参加費：無料(入館料別)／対象：0～2歳児と保護者
定員：8組16名／申し込み：要事前予約
(9/21より公式サイト、TEL.03-3995-0612にて)
リズムにあわせて体を動かしたり、声を出して歌ったり。物語への入り口となる「わらべうた」を親子で楽しみましょう。

●ちひろの誕生日・アトリエトーク

日時：12月15日(金) 11:00～11:20 / 14:00～14:20
参加費：無料(入館料別)／定員：各回15名／申し込み：当日受付

●ちひろの水彩技法体験 にじみのぼち袋づくり

日時：2024年1月4日(木)・5日(金)
10:30～15:00
参加費：200円(入館料別)
対象：5歳以上／定員：各日40名(先着順)
申し込み：当日10時より受付



●ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00～14:30
参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付
当館学芸員が開催中の展覧会の見どころなどをお話します。

●絵本のじかん

毎月第2・4土曜日 11:00～11:30
参加費：無料(入館料別)／定員：15名／申し込み：当日受付
協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

●出張「子育てのひろば」

日時：11月10日(金) 10:00～15:00
参加費：無料(入館料別)／対象：乳幼児と保護者
定員：なし(参加自由)／共催：特定非営利活動法人 手をつなご
おもちゃをたくさんご用意して、経験豊富な保育の専門スタッフが常駐します。親子で楽しく遊んだり、子育てに関する相談をしたり、保護者同士が交流したり、自由にお楽しみください。
※託児ではありませんので、お子さんといっしょにご参加ください。



●子どものためのワークショップ

日時：11月26日(日) 14:00～15:30
講師：富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)
参加費：無料(入館料別)
対象：3歳～小学生と保護者(外国語を母語とする家族を含む。英語対応あり)／定員：5組
申し込み：要事前予約(10/26より公式サイト、TEL.03-3995-0612にて)

●目の見えない白鳥さんといっしょに
ちひろの絵を楽しもう

日時：2024年1月7日(日)
10:30～12:30 /
14:30～16:30

ナビゲーター：白鳥建二
(全盲の美術鑑賞者、写真家)



参加費：無料(入館料別)／対象：大人／定員：各回5名
申し込み：要事前予約(12/7より公式サイト、TEL.03-3995-0612にて)

文化庁 令和5年度 Innovate MUSEUM事業

展覧会基本情報

展覧会名 ちひろ美術館セレクション
2010→2021 日本の絵本展
いわさきちひろ やさしさと美しさ

会期 2023年10月7日(土)～2024年1月14日(日)
※会期は予告なく変更になる場合があります。
○開館時間＝10:00～17:00
(入館は閉館の30分前まで)
○休館日＝月曜日(祝休日は開館、翌平日休館)、
年末年始(12/28～1/1)

入館料 大人1000円／18歳以下・高校生以下は無料
団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方は
800円／障害者手帳ご提示の方とその介添えの方
(1名)は無料／年間パスポート3000円

交通 ○電車の場合＝西武新宿線上井草駅下車徒歩7分
○バスの場合＝JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分／
西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

※上記のイベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お問い合わせは、お電話でお問い合わせください。
※2024年1月15日(月)～2月末日は冬期休館となります。